

中部日本ニュース

シネスコ版

道新 16131 1827ヤカにネリ回メーデー(特別)7100 (本編)トフヘ追加
 高新 16216 本編同イ
 新報 1644
 中口新 1617 7倍同イ(新編) 11400 (本編)トフヘ追加

No. 381 36.5.6

スポーツ 1700
一、中日、独走阻まる

——名古屋

好調な出足にまかせて一気に独走をはかる中日ドラゴンズが、このところ長打力にものをいわせて暴れまくる広島カープを地元中日球場に迎えたダブルヘッター、カープは第一戦、中日の繰り出す権藤、石川広島の三エースを森永のホームランでノックアウト、続く第二戦中日先制の一点も快調な広島打線は先発河村にはげしくおそいかり藤井、興津のホームラントリオが、五回、六回にそれぞれレフト・スタンドにアーチを描き、またたく間に勝ち越し、守つては第一、二戦とも弘瀬、大石が快投して二連勝、首位キラーの真価を発揮した一戦でした。

一、還暦の天皇誕生日

四月二十九日、天皇陛下は六十才のお誕生日をお迎えになりました。この日、午前九時から参賀の人々が皇居広場につめかけ、国民の祝福に天皇御一家が元氣にお応えになりました。最近の陛下はますます御健康で、御専門の生物学の研究にいそまれ、今年中に植物図鑑が出版される予定です。還暦と共に、学者としても円熟した日々をすごされているようです。

一、くずれた国会の正常化

四月二十七日日農業基本法案をめぐって開かれた自民社会の両党首会談は、今国会で成立をはかる自民党と統派審議を主張する社会党が対立して、会談は物わかれです。しかし民社党は難色を見せながらも審議に応ずる旨を示したようです。このためか、坂田農林水産委員長は、委員会を再会して質疑の打ち切りを宣しました。翌二十八日は本会議開会をめぐって自民党議員と社会党議員が衝突、混乱をまねきました。清瀬議長の前明通り、二十九日は本会議が開かれ、民社党の出席で辛くも単独採決をまねかれたものの社会党空席のまま農業基本法案は衆議院を通過しました。力と力の悪循環の前に、国会の正常化はまたしてもご破算になったのです。

日本の群像 (1000)

一、梢とともにも

——北海道

北海道の支笏地方を訪れた人々は荒れはてた風倒木地帯に目を奪われることでしょう。ここは昭和二十九年の台風で壊滅的な打撃をうけ、今なお樹木の墓場さながらの恐しい風景がみられます。

この廃墟を緑にかえようという努力が苫小牧市丸山に住む25世帯の山の労働者を中心に進められて来ました。男は植林、女は苗木造りと働き手は皆森林に身を捧げ、かくして植えられた苗木も五百万本に達しようとしています。

こうした努力が実を結んで褐色に荒れはてた大地も、少しずつ緑にかえられようとしています。しかしこの人達は、正式な職員として備ってもらえず、夏は日備い、冬は失業保険とはそぼそ生活を送っているのです。それでも、ぐち一つこぼさず毎日苗を植えつつける森林労働者の生活をここに紹介します。

1700 2700 2010 8700 1700